

なぜ「土曜日なのか」

土曜日は「ゆとり教育」によって、何か特別な時間に突然なったようです。毎日のスケジュールをこなす月～金曜日とも異なり、勉強からの完全な解放を意味する日曜日とも違う時となったのではないのでしょうか。

この時間を使って文字通り「ゆとり」を追求したり、人生の幅を広げるためにボランティアやアルバイト、家の手伝いをしたり、それぞれ思い思いに、この「土曜日」を過ごしていると思います。

しかし、敢えてこの時間で学力を伸ばしたいと思っている方々のためにその道具を提供したいと考えました。それがこの土曜日シリーズです。大切なことは「土曜日」は時間に追われる他の曜日とは異なり、「自分で、何をどのように」学習するか、決めることができる日だということです。読者のみなさんが自分のためにはっきりとした目標をもちながら、土曜日のわずかな時間を計画的に使って自分のペースで学習するための道具が必要だと考え、企画、編集いたしました。

このエアポケットのような時間を上手に、自分なりに使ってみてください。1日15分でもいいし、8時間でもいいのです。人に決められたスケジュールではなくて、自分のペースでかかわれるよう編集されていることこそが、この土曜日シリーズの大きな特色なのですから。

「土曜日シリーズ」とは言っていますが、「自由にできる時間、つまり心理的、物理的に空白の時間」であれば、水曜日でも、日曜日でも構いません。私たちのねらいは、自らの意志で、自らが計画者となり、自らのペースで学習していってもらうことだからです。

● ● ● 目 次 ● ● ●

第1章 注意すべき構文

頻出編

1	there と it (構文含む)	10
2	原級比較 as ~ as	12
3	比較級 -er/more ~ than	14
4	比較級と否定	17
5	最上級 (the) -est/most ~	19
6	最上級の内容を表す表現	20
7	部分否定と準否定	22
8	二重否定	23
9	否定語のない否定	24
10	その他注意すべきポイントと否定	26

難問編

四択問題	28
整序英作文	30
条件英作文	33
正誤問題	34

第2章 語順がらみの構文

頻出編

1	強調構文	38
2	語句による強調	39
3	倒置-1	41
4	倒置-2	42
5	省略-1 副詞節中のSV	44
6	省略-2 関係詞, 仮定法など	45
7	主語と述語の呼応	47
8	形容詞などがからむ語順	49

難問編

四択問題	52
------------	----

整序英作文	55
条件英作文	58
正誤問題	59

第3章 準動詞と動詞

頻出編

1 準動詞① 名詞的用法	62
2 準動詞② 形容詞的用法	64
3 準動詞③ 副詞的用法 (不定詞中心)	65
4 準動詞④ 副詞的用法 (分詞構文中心)	67
5 準動詞と意味上の主語	69
6 準動詞と完了形	71
7 with O C の構文	73

難問編

四択問題	76
整序英作文	80
条件英作文	83
正誤問題	84

(参考)

比較の慣用表現	36
動名詞と不定詞の慣用表現	74
否定の表現	86

◆◆ シリーズの内容 ◆◆

英文法筋力エクササイズ パターンプラクティスで基本を習得

BOOK1 動詞と文型、完了形、受動態、仮定法、準動詞(1)

BOOK2 準動詞(2)、関係詞、比較、特殊構文

英文法入試実戦力エクササイズ 頻出で得点しにくい入試問題を制覇

BOOK3 時制、関係詞、接続詞

解法キーをテクニカルに使いこなせば簡単に問題が解けるようになる論理構造がはっきりした分野

BOOK4 注意すべき構文(比較など)、語順、準動詞

論理と暗記の両方必要とされる項目

～ 第1章 注意すべき構文 ～

頻出編

1. there と it (構文含む)

解答と訳例

- ④「森の奥深くに、木こりが妻と3人の子どもと住んでいた」
- ③「アメリカでは日本食を求める声が高まりつつある」
- ②「その庭には見知らぬ人がいると信じられていた」
- ④「その建物には誰もいないようだった」
- ④「えーっと、私たちがこの間会ってからどのくらい経ったのかしら」
- ④「この話はこれですべてですか」

解説

- 「存在」「出現」を表す動詞は **there is** 構文を使うときのキーワード 第1の解法キーは空所の直後に存在を表す動詞 lived があること④。第2の解法キーは、主語として、不特定な名詞 a woodcutter が続くこと④。ここから問題文は there is 構文で、④ there が正解とわかる。① which がだめな理由は、live は自動詞なので目的語に a woodcutter をとれないこと（仮にとれたとしても意味不明）。② where を正解にすると where 以下がすべて a deep forest にかかってしまい、In a deep forest という前置詞句だけになってしまうため不可。③ の it が live するのは「あの妖怪が住む」ぐらいには訳せるが、いずれにしても、文構造上、a woodcutter の役割が説明できなくなり、意味不明になるので不可。
- 「不特定な名詞」は **there is** 構文のキーワード 解法キーは () の直後が a growing demand と不特定な名詞であること③。ここから、there is 構文が正解と考えて③を選ぶ。① の it is では a growing demand の文構造上での役割が説明できなくなるので不可。
- It be believed that SV...**の構文の書き換えが基本！ 解法キーは与えられた問題文が **It be believed that SV**「SVと信じられている」の構文であること。be believed の部分には seem(s)や be said など使われ、不